

令和6年度

# 委員会だより

N O . 2

## 組織・連携委員会編 北海道PTA連合会

委員会は、道P連の基本方針・基本目標を受けた重点目標にある、研修活動の充実を図る上で中心となるものです。

組織・連携委員会は、組織の在り方や他団体や地域との連携、親が学びを深める研修活動等に関することについて年3回の会議を持って調査研究活動を進めています。

### 【今年度の研究テーマ】

『共に学び、行動し、連携するPTA活動や組織の在り方』

### 【今年度の研究の視点】

- 持続可能なPTA活動・組織
- 学校と家庭・地域の連携・協働体制

### 【今年度の研究の方向性】

- ① 持続可能なPTA活動・組織について協議を継続する。
- ② 学校と家庭・地域が一体となって子どもを支える連携・協働体制の構築を図る。
- ③ 各地区の取組や情報の全道PTAへの積極的な発信・共有を行う。
- ④ 令和8年度函館大会での提言について協議を継続し、サポートしていく。

◇令和6年10月12日（土）に、第2回組織・連携委員会が開催されました。その主な内容をお知らせします。

### ◎令和8年度函館大会提言PTAの推薦について

各単Pを対象に、「持続可能なPTA活動・組織」や「学校と家庭・地域の連携・協働体制」の事例を調査しました。回収P数は606単Pとなり、この集約をもとに次回委員会で提言校の推薦について話し合うこととなった。

### ◎参加者から各地区の交流について

- ・コロナ前に戻すのでなく、新たなチャレンジをすることも大切。学校をまわりからいろいろサポートできる。子どもの見守り活動とか。
- ・CSとPTAの関係や棲み分けはどうか。CSの進み具合はまちまちなので、その違いなどが理解されないことがある。
- ・PTAで連携して、地域子ども会に助成を考えている。
- ・学校の土曜授業と学校行事、PTA行事がタイアップされていると地域も参加しやすい。
- ・花壇整備作業の日程に幅を持たせていると一斉に行うよりも参加しやすい人がいる。

- ・プール授業やスキーのボランティアはその様子が参観できるので喜んでいる保護者もいる。
- ・運動会の準備を子ども、保護者、教職員でやっている。
- ・給食の残食が多いので、給食時間の参観を取り入れてもらった。この件については試食会を兼ねてみるのも効果がある。
- ・読み聞かせのボランティアは父親の数も増えてきた。
- ・活動がうまくいっているところは保護者と先生の関係もよいのでは。

#### ◎組織の工夫について

- ・クラス委員の代表者を役員会にオブザーバーとして参加してもらい、オープンにしている。何をやっているかわからないということのないように。
- ・子どものための会議はざっくばらんに話ができるようにしたい。
- ・先生と役員が楽しくやっていることで、敷居をさげることが大切。
- ・参加しやすい活動の工夫も必要である。
- ・子どもと絆を深められる取組を。
- ・コロナの時も活動はいろいろあったし実行もできた。みんなで考えるとアイディアはでてくる。
- ・朝からゴミ拾いをして終了場所でジングスカンを提供する取組をしたが年々参加者がふえてきた。
- ・人間関係の構築が大事。懇親会も大切。
- ・不登校の支援の手伝い。
- ・働き方改革は、先生方のこともあるが、子どもにとってこんなことができるようになったという取組になるといい。



☆次回の委員会は、12月7日(土)、13:00～です。

北海道PTA連合会事務局

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目 時計台通ビル6階

TEL (011) 251-6937 FAX (011) 210-0929

Eメールアドレス [info@hokkaido-pta.jp](mailto:info@hokkaido-pta.jp)